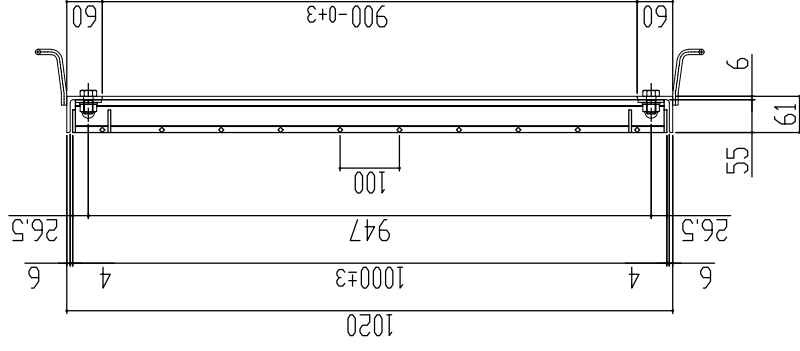


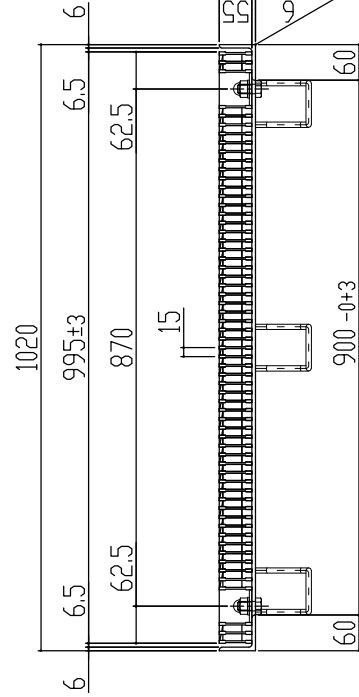
FB4.5x38

HGIB5x3x55

CBφ6



車輦進行方向(横断)



本体重量 114.8kg
受枠重量 24.4kg
合計重量 139.2kg

表面处理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)
受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図

訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	承認印	検印	製図	図面名称									
標準製作図面						松本	ますぶた(ハイテン) グレーチング 開口900×900用 細目ボルト固定 ノスリップ T-25									
試作図面																
特注図面																
検討図面																
<table border="1"> <tr> <td>材質</td> <td>数量</td> <td>縮尺</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							材質	数量	縮尺				<table border="1"> <tr> <td>MK□55-99</td> <td>LNHFA555-99B</td> <td>MKG-L-749</td> </tr> </table>	MK□55-99	LNHFA555-99B	MKG-L-749
材質	数量	縮尺														
MK□55-99	LNHFA555-99B	MKG-L-749														
<p>株式会社 マキテック MK駐輪事業部</p>																

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHFA555-99B
	製品寸法	1000x995x55
	主部材	I-5 × 3 × 55
	断面係数	Z = 2.303 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-25	支点間距離	L = 900
	後輪一輪荷重	P = 100000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。			
	$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より			
	$\omega = 100000 \times (1 + 0) \times 15 / 100000$			
	$\omega = 15.00$ (N/mm)			
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。			
$M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2$ より				
$M = 15 \times 0.5 \times 200 \times (900 - 0.5 \times 200) / 2$				
$M = 600,000$ (N・mm)				
3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm ²) を求める。				
$\sigma_b = M / Z$ より				
$\sigma_b = 600,000.0 / 2303.000$				
$\sigma_b = 260.53$ (N/mm ²)				
従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm ²) に対し、				
<u>260.53 (N/mm²) \leq 320 (N/mm²)</u>				

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--